

研究①から得られたデータは、フリーカード法経験者群と教職経験1年以上の教師が、授業観察において同一傾向を持っていることを示している。

こうしたことから、フリーカード法による授業研究会を実施することは、的確な授業観察眼の育成に有効であり、ある意味で授業スキルの向上にも有効であると考えられる。

2 研究②

(1) 研究の手順

研究②は、フリーカード法を実際に体験し、その体験のもとでのメリット、デメリットをまとめたものである。

調査対象は、中・高教育方法実践講座参加者50名と研究協力校の木幡第二小学校教員14名である。

調査は、

①授業者の立場として

②観察者の立場として

の、それぞれの立場でのメリット、デメリットを自由記述で思いつくまま書いてもらった。

集計は、記述内容をカテゴリー別に分類した。

(2) 研究の結果

調査の結果の上位3項目を次に示す。なお、アンケートでは「考えられるだけ」という条件を設けた。従って複数回答も無回答も認めている。

① 授業者の立場で

【メリット】（FC：フリーカード法、以下同じ）

指摘事項（FC未経験者群）	人	%
・ カードに率直な意見が記述されるため改善点が明確になる。	16	32
・ 自分の気付かない点分かる。	12	24
・ いろいろな視点から授業を観察してもらえる。	10	20
指摘事項（FC経験者群）	人	%
・ 参観者の考え方が分かって話し合いが進めやすい。	5	38

・ 率直な意見が聞ける。	5	38
・ 意見が整理しやすい。	3	24

【デメリット】

指摘事項（FC未経験者群）	人	%
・ 率直すぎて怖い。	7	14
・ 細かいことにこだわりすぎる傾向もある。	7	14
・ まとめるのに苦労する。	6	12
指摘事項（FC経験者群）	人	%
・ まとめるのに苦労する。	2	16
・ 話し合いの中で出る考えもある。	1	8

② 観察者の立場で

【メリット】

指摘事項（FC未経験者群）	人	%
・ 見方や考え方が広がる。	28	56
・ 意見の交換が自由に、かつ十分に行える。	8	16
・ 分類作業中に、観察時に考えたこと以上のことが得られる。	6	12
・ 授業観察の視点が学べる。	6	12
指摘事項（FC経験者群）	人	%
・ 分類作業中に、他の人との比較から自分の思考、観察傾向が分かる。	5	39
・ 参加意識が高まる。	3	24
・ ポイントに迫る話し合いが行われる。	3	24

【デメリット】

指摘事項（FC未経験者群）	人	%
・ まとめるのに時間がかかる。	30	60
・ 視点が分散しすぎる。	10	20
・ 時間に沿った観察がしにくい。	4	8
・ 授業観察の際、書くことに注意が向いてしまう。	4	8
指摘事項（FC未経験者群）	人	%
・ 文章では伝えられないものもある。	5	35
・ 作業が多くなってしまう。	1	8